

■ バイオシュートの特性

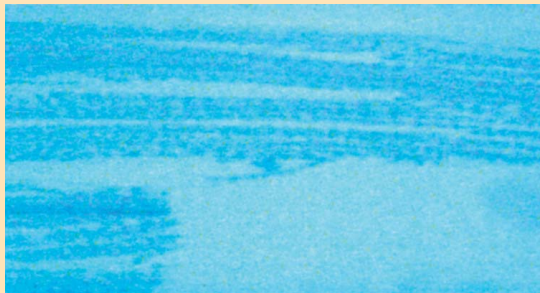
バイオシュートは納豆菌の一種であるバチルス菌が成分で、15℃以上で菌が活発に活動し、サッチの分解を促進します。

- 成分：バチルス・ズブチリス菌
- 性状：淡褐色水和性粉末
- 荷姿：500gアルミ袋入り×10袋/ケース

■ 25℃ 1ヶ月後の分解状況 (インビトロでの試験)

【バイオシュート処理区】

無処理区、A剤処理区と比較して、どちらの区よりも分解が進んでいる。



【A剤処理区】

無処理区と比較すると分解が進んでいる。



【無処理区】

全く組織が分解していない。



07年度サッチ分解促進効果の確認

1回目散布は5月7日、2回目散布は6月14日で0.2g、0.4g/m²を散布(水量は250mlで土壤処理剤と同じ方法で散布)

2回目散布2ヶ月後に調査

芝の種類はL-93でグリーンナーセリーで試験(Aゴルフ倶楽部)

散布濃度	サッチの厚み	減少率(%)
0.2g 1回散布	0.8cm	33.3
0.2g 2回散布	0.3cm	75.0
A分解剤1回散布	0.9cm	25.0
無処理	1.2cm	

■ 使用時期

- 地温10℃以上の時期で、**春期(4月中旬～6月下旬)**、**秋期(9月～11月)**の時期が最適です。
- サッチが多い場合は、本剤を**春と秋の2回散布**するのが効果的です。

■ 散布場所

- グリーン周りのサッチの取りづらいつラフ、排水の悪い場所、フェアウェイに使用するとサッチ分解が促進されて、土壤処理剤の効果が安定し、雑草も減ります。
- グリーンもサッチが多いと思われた場合は春1回、もしくは春・秋の2回使用するとより効果的です。

■ 本剤の使用量

- 使用量:200～400g/10a (0.2～0.4g/m²) 散布水量:200～1000ℓをタンクに水を入れて希釈する。水量は通常の殺菌剤、殺虫剤、除草剤を使用する水量で十分です。
- 土壤処理剤(除草剤)を散布する時には水量が少ないと思いますので、後散水を200～300ml/m²するとより効果的です。

■ 使用手順及び注意

- なるべくバイオシュートを先に入れてから散布液を調製し、よくかきまぜてからご使用下さい。
- 本剤はTPN剤及び、キャプタン剤をはじめほとんどの農薬と混用できますが、マイシン剤などの抗生物質とは混用しないでください。
- 開封後は、できるだけ早く使い切ってください。

